

市民協働かわら版

No.11（平成27年4月30日発行）

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒590-0592 泉南市樽井 1-1-1

Tel.072-483-0004

市民の皆さんが集まって、泉南市のまちづくりに関して自由に楽しく語り合い、将来のまちづくりに活かしていく、平成27年度第1回「泉南・市民まちづくりサロン」が4月22日（水）に泉南市立樽井老人集会場で開催されました。

市民11名（男9名、女2名）、阪南大学国際観光学部の学生3名及び職員4名（人権推進課2名、事務局〔政策推進課〕2名）の総勢18名が参加し、サロンが始まりました。（共催：泉南市ABC委員会）

今回は、「泉南市の観光資源」、「泉南市の文化」、「泉南市のまちづくり」などについて意見交換が行われ、また、初めて市役所を出てサロンが開催されました。

【サロンでの主な意見】

- * 山や海があり、天災がない。
- * 住んでいる人は恵まれすぎていて泉南市の良さに気付いていないのではないか。
- * 泉南市は地元の今治と同じでのんびりしており、その良さを伝えることができたらと思う。
- * 泉南市内を観光するバスツアーがあれば市内を回りやすいのではないか。
- * 泉南市の観光資源を関空やりんくうタウンで積極的にPRしてはどうか。
- * 南泉州には文化があまり育成されていない。
- * 文化を育成するには20～30年先のことを考えるべきである。
- * カルチャー（文化）には「耕す」という意味合いがあり、つまり、人を育てるということである。
- * 近くに関空がある利便性をPRして、まちづくりに活かせるようにできないか。
- * 市民が共通認識を持ってまちづくりを考えるべきである。
- * まちづくりをするには女性の意見が大事である。
- * 天災が少なく、住みやすいが、交通の便が悪い。
- * 大阪市や堺市の職員は対応が冷たいが、泉南市の職員はきめ細かな対応をしてくれる。

【意見に対するサロンで話し合った内容】

- * 泉南市の観光資源
- * 泉南市の良さへの気づき
- * 泉南市をPRする手段
- * 泉南市の文化の育成
- * 文化育成に係る先見性の大切さ
- * 関空がある利便性を活用したまちづくり
- * 共通認識を持ったまちづくりの大切さ
- * 泉南市職員の接遇の良さ



※以上が、今回のサロンでの主な意見と意見に対するサロンで話し合った内容です。

※次回は**5月27日（水）午後7時30分から泉南市立新家公民館**で開催する予定ですので、多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。